



ボッシュ グローバルサプライヤーアワード ボッシュが最優秀サプライヤーを表彰 「イノベーション」部門賞を新設

2013 年 7 月 4 日

PI 8176 RB Zi/af

- ▶ 9 カ国、38 のサプライヤーを表彰
- ▶ 技術革新が競争力の源
- ▶ ボッシュは開発の初期段階からサプライヤーのノウハウと独創性を統合することを希望

シュトゥットガルト - ボッシュ・グループは最優秀サプライヤーにボッシュ グローバルサプライヤーアワードを授与しました。今年のアワードは 5 部門に分かれ、9 カ国 38 のサプライヤーが賞に輝きました。ボッシュが特に優れた製品／サービスを製造・納入した取引先企業をサプライヤーアワードによって顕彰するようになってから、今年で 13 年目になります。「ボッシュ グローバルサプライヤーアワードには、『評価』と『鼓舞』という 2 つの側面があります。ひととき優秀なサプライヤーを高く評価するとともに、選に漏れてしまったサプライヤーにもさらに発奮していただくことが、このアワードの目的です」。ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のフォルクマル・デナーは、シュトゥットガルトで開かれた表彰式でこのように述べました。

技術革新が競争力の源

今年ボッシュ グローバルサプライヤーアワードのテーマは、「イノベーション - 競争力の源」でした。そこで、今年初めて「イノベーション」部門賞が創設され、初回の受賞企業は新しい磁石を開発した日本の信越化学工業株式会社に決まりました。ボッシュは信越の磁石を、特に ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)とエンジンに採用しています。ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会のメンバーで、購買と物流を担当するシュテファン・アーセンケルシュバウマーは表彰式で、「ボッシュにとって技術革新力は、競争力を確保するための重要な前提条件です」と前置きした上で、「サプライヤーはそのために欠かせないパートナーです」と強調しました。アーセンケルシュバウマーはまた、技術革新がサプライヤーにも大きな利益をもたらすとして、「誰もが技術革新から得られる利益に気付いています。これからはボッシュから発注を受ける上で、新しいアイデアや斬新なアプローチがますます重要になるでしょう」と述べました。アーセンケルシュバウマーはさらに、サプライヤーは自身の技術革新力をバネに、新しい市場と新しいビジネスチャンスを切り拓き、自社のためにも活用できることを指摘しました。

早期活用で、より大きな可能性を切り拓く

今後のテーマとして、ボッシュでは、製品開発プロセスのより早い段階からサプライヤーに加わってほしいと考えています。「サプライヤーは、私たちの技術革新戦略に欠かすことのできない存在です。開発プロセスの早い段階で彼らの持つノウハウと創造力を活用したいと思っています」とデナーは述べています。そうした力を初期に採用してこそ、新しいアイデアがその後の生産コストに及ぼす効果を最大限に引き出すことができるのです。「競争力のある製品が生まれるかどうかは、開発段階でほぼ決まります」

アイデアを収集するためにウェブプラットフォームを開設

ボッシュは現在、新製品や新しいプロセスを開発するために、既存のサプライヤーとの合同プロジェクトを進めています。また、ボッシュは日頃から新規の発明を探し求めており、その一環として、新しいアイデアの受付窓口となる専用のウェブプラットフォームを設置しました。URL は www.bosch.com/idea です。製品、プロセス、業務手順のいずれかに関わり、またそれがアイデアやコンセプト段階か、すでに形を成しているものかに関係なく、会社、個人を問わず、どのような発明も受け付けています。なお、お寄せいただいたアイデアは、専門チームが検討し、適切と判断したものについてはボッシュ社内の担当部署に回し、最大限に活用させていただきます。

グローバルソーシング – サプライヤー基盤のさらなる国際化に向けて

2012年にボッシュ・グループの購買額は総額約270億ユーロにのびました。重点地域は欧州で、総調達額のほぼ65%を占めています。欧州以外で大きなウエイトを占めるのは、中国、米国と日本です。ボッシュは部品、サービスともに、現地調達に重点を移す方針を掲げており、今後もさらに購買先の国際化が進むと考えています。購買品の大半は、電子コンポーネント、機械／電気機械コンポーネント、プラスチック製品などの部品類ですが、そのほかに、市販品、消耗品、機械類なども含まれています。

注意事項: サプライヤーアワード受賞企業の全リストは、ボッシュ メディアサービス (www.bosch-press.com) でご覧いただけます。

報道対応窓口:

René Ziegler、Tel. +49 711 811-7639

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2012年度の従業員数は約30万6,000人、売上高は525億ユーロを計上しています。また2013年初めからは、自動車機器テクノロジー、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制に移行しました。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売、サービスのグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。ボッシュでは2012年に約48億ユーロもの金額を研究開発に投じ、さらに全世界では4,800件以上の国際特許の基礎特許（第一国出願）を出願しています。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ（1861～1942）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主（利益配当）」と「経営（議決権）」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」（持株比率92%、議決権なし）が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英文）
www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英文）を参照してください。